

●主 な 内 容●

定例会市議会市政一般報告…… 1～5面
 野田産ブランド農産物が市場へ… 6～7面
 15万人のひろば…………… 8～9面
 おしらせ・10月の相談日……12～13面
 10月の休日当番医……………16面

発行：千葉県野田市役所（〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111代表）

ホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp>

携帯電話用のホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp/k/>

平成22年第3回定例会市議会市政一般報告

賃金水準や継続雇用を確保する公契約条例改正や

減農薬・減化学肥料の米づくりなど報告

平成22年第3回定例会市議会にて、根本市長は業務委託の職種別賃金設定や継続雇用の確保のための公契約条例の改正や、減農薬・減化学肥料による米づくりの取り組みなどを報告しました。本号では、その概要をお知らせします。

本年度の事業方針とした事項の進捗状況を申し上げます。

◆愛宕駅周辺地区の市街地整備

イトーヨーカドー再出店の条件の県道右折レーン拡幅は、用地買収が完了、本年度詳細設計、来年度は愛宕神社から愛宕西駅前線入口までの歩道拡幅と交差点改良工事の予定で、西駅前線は、北側拡幅部分工事を本年度、既存道路は来年度整備予定で、西駅前線から市道31169号線と市道31328号線は10月から、また、駅東地区は、排水路（通称大ドブ）を本年度も引き続き工事し、設計・積算が完了し、早急に工事着手予定です。排水路改修工事の上部を地区内幹線道路として駅前広場に接

継続する整備は、本年度実施設計を行い野田警察署と協議予定で、駅前広場と駅前線は、用地買収を進め、来年度に実施設計、24年度から駅前線の工事、駅前広場は連立事業の進捗にあわせ、暫定的ですが25年度整備予定です。

◆玄米黒酢農法の「ちばエコ米」

関宿地区約45ヘクタールで7月14日と27日にラジコンヘリコプターで、木野崎、目吹、船形地区約240ヘクタールは、7月20日と8月10日に有人ヘリコプターで黒酢の散布、あわせて病害虫予防対策として、出穂前の畦畔雑草の草刈りを行いました。病害虫発生量調査は、東葛飾農林振興センター、ちば東葛農業協同組合、北総農業共済組合と

市で市内全域に2回行い、黒酢散布の4地区は市が実施し、7月22日の調査では害虫が例年より少なく、水稲は、病害虫の悪影響を受けず順調に生育し、平年並みの収穫量と考えています。

本市のお米が安全・安心な農産物であることをアピールし、ブランド価値を高めるため、黒酢農法に加え減化学肥料の取り組みが必要と考え、水田の冬期湛水^{みなみ}で土中の微生物の繁殖を促し豊かな土壌の土台を作り、農薬や化学肥料の代わりに米ぬかなど^{ぬか}の使用と深水管理などで雑草を抑制する水稲栽培や、ドジョウや小魚など多様な生き物を育む地域環境を整えたいと考え、試験的に6か所で冬期湛水に取り組み経費を補正予算に計上しています。

◆戸別所得補償モデル対策

本市の加入申込件数は602件で、米戸別所得補償モデル事業が500件、水田利活用自給力向上事業が22件、両事業への加入が80件で、申



黒酢農法に加え減化学肥料栽培の取り組みも

請した農家には、10月に国から交付金請求書類が送付されます。

◆まめバス 7月19日に利用者が延べ200万人を突破し、感謝と利用促進のため、スタンブラリーを実施し、先着100人に記念品を、また、車内でパークラフト配布を30枚限定で行い、先着各30人に記念品を贈呈し、さらに、限定500枚の記念乗車券を販売中です。

また、運行計画変更のパブリック・コメントは、42人から196件の意見を頂き、運行計画案へ反映し、検討専門委員会議に再度伺い、運行計画案をまとめる考えです。見直し後のルート運行を来年4月から予定していますが、許認可などに3か月程度要するため、債務負担行為の補正予算を計上しています。

◆学校耐震補強工事 第一中学校

校管理・特別教室棟は、夏季休業